

# 一般社団法人室内環境学会 2026 年度 第 1 回通常理事会議事録

日 時：2025 年 11 月 20 日（木）10:00～12:00

場 所：事務局会議室／オンライン会議室

出席者

理事：東賢一（理事長）、中島大介、橋本一浩（事務局長）、小栗朋子（会計）、高木麻衣、  
三宅祐一、森田洋、篠原直秀、水越厚史、萬羽郁子

事務局：色摩操

監事：齊藤智

欠席：鍵直樹、柳宇、徳村雅弘、嶋崎典子

本理事会は総理事数 14 名のうち過半数である 10 名が出席していることから、定款第 34 条により成立した。また同第 33 条により、本理事会の議長は東理事長が務めた。

議事次第：

## 1. 議事録の確認

橋本総務委員長より、2025 年度第 3 回臨時理事会（2025 年 6 月 2 日開催）および 2025 年度第 2 回通常理事会（2025 年 9 月 8 日開催）の議事録案が示され、承認された。

## 2. 2025 年度決算報告

小栗財務委員長より、資料に基づき第 13 期（2025 年度）決算が報告された。当期の収支は単年度で約 60 万円の赤字となったことが報告された。主な要因として、昨今の物価高騰に伴う学会誌発行費用の増加等が挙げられた。また、創立 30 周年記念柳澤幸雄賞の寄付金に関する会計処理について、正味財産増減計算書における記載方法の変更等の説明があった。

## 3. 2025 年度監査報告

齊藤監事より、会計帳簿および証憑書類の照合を行った結果、正確かつ適正に処理されている旨の報告があった。なお、付帯意見として、領収書の但し書きや明細の不備（コンビニエンスストアのレシート活用など）、宿泊費の内訳（室料・食事代等）の明確化、謝金支払い時の受領確認の徹底などについて指摘があり、改善することとした。

## 4. 広告募集要項のリニューアル案

萬羽広報委員長より、学会誌の電子化（2026 年 4 月予定）に伴う広告媒体の変更について提案があった。従来の学会誌広告を廃止し、ホームページバナー広告およびニューズレター広告へ移行・統合するリニューアル案が示された。審議の結果、法人会員のメリットを明確にするため、非会員の掲載料との価格差を設ける等の意見が出され、引き続き検討することとした。

## 5. 学会誌の冊子版の申し込みについて

萬羽広報委員長より、学会誌の完全電子化に伴い、希望者に対してオンデマンド印刷による冊子版を有償配布する件について、ニューズレター等を通じて会員へ案内し、購入希望者を募集する手順が提案され、承認された。

## 6. 2026 年度予算案

東理事長より、2026 年度収支予算案が提示された。学会誌電子化による印刷費の削減を見込むものの、総額では約 82 万円の赤字予算となる見通しが示された。本予算案は承認された。

## 7. 2026 年度事業計画案

東理事長より、2026 年度事業計画案が提示された。2025 年度の方針を概ね踏襲し、学会誌の電子化への円滑な移行、会費改定による収支改善、学術大会の開催等を重点的に進めることが説明され、承認された。

## 8. 一般規則改定

橋本総務委員長より、会費の改定に伴う一般規則の改正案が提案された。正会員会費を 7,000 円、法人会員会費を 50,000 円、学生会員会費を 3,000 円、商標会員会費を 100,000 円にそれぞれ増額することとし、施行日は令和 8 年（2026 年）10 月 1 日とすることが承認された。

## 9. 名誉会員の推戴式出席の旅費に関する内規

橋本総務委員長より、名誉会員が推戴式に出席する際の旅費に関する内規案が提案された。交通費および宿泊費（1 泊分）を学会本部会計より実費支給すること、大会参加費および懇親会費を免除すること等が定められ、承認された。

## 10. 謝金に関する内規の改定

小栗財務委員長より、謝金に関する内規の改定案が提案された。労務謝金の単価を現状の公的機関等の基準に合わせて引き上げること、また Amazon ギフトカード等による支払い時においても受領者の署名・捺印を含む領収書（受領書）の提出を義務付けることとし、承認された。

## 11. 若手イベント「室内環境コネクト」

橋本総務委員長（徳村若手活性化委員長代理）より、2025 年学術大会（北九州）の懇親会において、学生と企業会員の交流促進を目的とした新企画「室内環境コネクト」を実施する旨の提案があり、承認された。

## 12. 2025 年度委員会等活動報告・2026 年度活動計画

前回理事会で報告のなかった委員会および支部について、橋本総務委員長より以下の通り報告があった。

総務委員会：例年通りの事務処理業務を行う旨の報告があった。

事業委員会：永年賞の審査、協賛等の審議状況について報告があった。

社会連携委員会：国際シンポジウムの開催、台湾での国際会議への講師派遣等について報告があった。

九州支部：3 月の研究発表会の開催、学校薬剤師としての環境調査活動等について報告があった。

東北支部：他学会との連携による情報収集、空気清浄機およびフィルタ性能に関する実測調査等の活動について報告があった。

## 13. 2025 年表彰

三宅表彰委員長より、以下の通り各賞の受賞候補者が推薦され、審議の結果、承認された。

学会賞：関根嘉香会員 「ヒト皮膚ガス測定を基盤とする室内環境学研究の新領域の創生」

学術賞：伊藤一秀会員 「室内環境の数値解析と健康影響評価に関する先駆的研究」

学術賞：熊谷一清会員 「公衆衛生工学による室内空気環境政策への提案」

技術賞：川崎たまみ会員 「旅客設備空間の環境衛生評価手法の構築からデジタル評価技術への展開」

研究奨励賞：萬羽郁子会員「個人特性を考慮した室内環境におけるにおいの認知や評価に関する研究」  
論文賞：松下尚史会員 「室内空気中のアルデヒドおよびその他揮発性有機化合物の同時測定を実現する新規パッシブサンプリング手法の開発」  
論文賞：酒井颯大会員 「定量的ノンターゲット分析（qNTA）に基づく車室内空気中に存在する化学物質の網羅的なリスクスクリーニング手法の検討」

森田出版委員長より、以下の通り査読者賞の受賞候補者が推薦され、承認された。

査読者賞：池田四郎会員、橋本一浩会員

橋本総務委員長より、事業委員会での審議を経て決定した永年賞受賞者が報告された。

永年賞：独立行政法人製品評価技術基盤機構

東理事長より、名誉会員の推挙について提案があり、承認された。

名誉会員：平野耕一郎先生

#### 1 4. 2025 年学術大会準備状況

森田大会長より、2025 年 12 月 2 日～4 日に北九州国際会議場で開催される学術大会の準備状況について報告があった。参加者・機器展示ともに順調な申し込みがあり、盛会となる見込みである。また、表彰式については、受賞講演を伴う賞は大会初日（12 月 2 日）に行い、その他の賞（査読者賞、永年賞、名誉会員推薦）は翌日の総会時に行うこととした。なお、2025 年大会から大会長奨励賞はエントリー制となる。2026 年大会への申し送り事項として、confit の申込時に大会長奨励賞へのエントリー登録が出来るようシステム改修することとなった。

#### 1 5. 2026 年学術大会準備状況

東理事長より、2026 年学術大会について以下の通り報告があった。

- ・大会長：一條 佑介（東北文化学園大学）
- ・開催日：2026 年 12 月 9 日～12 月 11 日
- ・場 所：トークネットホール仙台（宮城県仙台市）

#### 1 6. 新規入会者の承認

橋本総務委員長より、2025 年 9 月～2025 年 11 月の入会承認者 32 名（正会員 14 名、学生会員 17 名、シニア会員 1 名）のリストが報告された。また、最近の入会希望者 1 名（学生会員 1 名）のリストが示され、承認された。

#### 1 7. その他

会員動向として、2025 年 11 月 14 日時点で正会員 369 名、法人会員 55 社（団体）、学生会員 72 名、シニア会員 6 名であると報告された。

以上

東 賢一

印

中島大介

印

鍵 直樹

印

橋本一浩

印

小栗朋子

印

高木麻衣

印

三宅祐一

印

森田 洋

印

柳 宇

印

篠原直秀

印

水越厚史

印

萬羽郁子

印

徳村雅弘

印

嶋崎典子

印